



エステよりも週1の
超音波美顔器

まだ家庭用の美顔器が珍しかった時代に、お母様からプレゼントされた年代物の超音波美顔器。「プロ用のこの機械は、20年前の値段で約20万円。若い頃使っていたのだから知らずには、この美顔器のおかげかもしれません」



韓国マダム愛用の美白コスメ

ホワイトニング熱の高い韓国で、美白マダムに教えてもらったコスメ。(右) COO GI WHITE VELVET SERUM。(左) merblane white sea clay (共に日本未発売)



小枝雅代さん(42)
トレンコールポーリーション取除き。ストッキング「ステイフィット」の着用。私より若い肌の人を見たら、その足で日焼けサロンに行きたいという過去を感じさせない白肌の持ち主



同年代の美肌の持ち主に「何使ってるの」と質問攻め「きれいな人に会ったらすぐ、何を使ったらそうなるの？」って尋ねるんです。日傘を差して、紫外線は絶対浴びません」というような生活感の薄い人より、アクティブに過ごしている人に聞いてこそ、自分でも取り入れられるというもの。聞くのは、もちろん若い子ではなく、同年代。そうやって集めた情報をもとに、趣味や仕事を楽しまつつ、美肌をキープしています」

「ついでに行きたい!」美人の愛用品
皮膚科医・片桐衣理先生が開発した(左)イースペシャル モイスチャージェルW7000円/衣理クリニック、とピュアティアナリストの和泉佳さんがプロデュースした(右)クレームド ミルクエール1万8800円/エターナルポーチ

スッピンでテレビ出演できる石けん?
49才という年齢にも関わらず、スッピンでショッピングチャンネルに出演している美肌の持ち主武蔵野衛さんに教えてもらった洗顔石けん。「朝晩で使い分けるといい。洗顔に対する意識を変えた名品です」(上) Q10ピュアエンジェルソープ8000円。(下)ピュアグリーンソープ5000円/共にアビールインターナショナル



ひたひたのコットンで毎日パック



1 さいたコットンを、乾燥した部分に置く。「上からラップを重ねるのもおすすめです」
2 コットンを半分厚さになるようにさく。「コットン代が節約できる佐伯チズさん方式です」
3 水で濡らしたコットンに、化粧水を含ませる。「厚紙を和らげ、しっかり保湿できます」

キレイを支えるのは
お金より工夫



安田愛さん(30)

「何をを使うかより、どう使うか」
「サンフランシスコでチアリーダーをしていたとき、チームメイトが日本ほど美白に神経質ではないことに、カルチャーショックを受けました。日に焼けたからといって高い美白美容液をケチケチ使うより、毎日コットンパックをしたり、蒸しタオルをあてたりして、地道に肌の新陳代謝を促すほうがきれいになれる。コスメに頼らず、工夫することの大切さを学びました」
スキンケアの要は化粧水
肌のハリに働きかけるカクルカン配合の高保湿化粧水 エースベーターシー コスメティックウォーター 4725円/シユウウエムラ

チアリーダーはヘルシーさが大切。「日焼け肌を楽しみながら、シミ対策をしています」写真提供/NFL JAPAN